

2010年1月1日～2025年12月31日の間に
当科において肝・胆・膵高難度手術を受けられた方へ
—「超高齢者に対する高難度肝胆膵外科手術の治療成績向上に向けた
臨床病理学的因子の究明」へご協力をお願い—

研究機関名 岡山大学病院
研究機関長 金澤 右

研究責任者	岡山大学病院	消化管外科	教授	藤原	俊義
研究分担者	岡山大学病院	肝・胆・膵外科	教授	八木	孝仁
	岡山大学病院	肝・胆・膵外科	講師	榎田	祐三
	岡山大学病院	肝・胆・膵外科	助教	吉田	龍一
	岡山大学病院	臓器移植医療センター	助教	杭瀬	崇
	岡山大学病院	臓器移植医療センター	助教	吉田	一博
	岡山大学病院	肝・胆・膵外科	医員	安井	和也
	岡山大学病院	肝・胆・膵外科	医員	松田	達雄
	岡山大学病院	肝・胆・膵外科	医員	高木	弘誠
	岡山大学病院	肝・胆・膵外科	医員	荒木	宏之

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

現在、増加する高齢者に対しては、手術手技や周術期管理の進歩により安全に手術することが可能となってきました。しかし、超高齢者に対して難度の高い肝胆膵外科手術の手術適応とその治療成績に及ぼす要因についてはわかっていません。この研究の目的は超高齢者の患者因子、手術因子を解明することです。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

この研究を行うことにより、超高齢者に対する高い侵襲をもたらす手術の適応および予後の向上という医学上の貢献がなされることが考えられます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2010年1月1日～2025年12月31日の間に岡山大学病院において、肝胆膵高難度手術を受けられた方1200名を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認後～2029年3月31日

3) 研究方法

2010年1月1日～2025年12月31日の間に当院において肝胆膵高難度手術を受けられた方で、研究者が診療情報をもとにデータを選び、手術後の予後に関する分析を行います。

4) 使用する試料

なし

5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別、診断名、既往歴
- ・ 血液検査、術前画像検査（CT、MRI、内視鏡検査）結果
- ・ 手術情報：術式、出血量、手術時間

6) 外部への試料・情報の提供

なし

7) 試料・情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院肝・胆・膵外科医局で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

8) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2026年1月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

（ご連絡いただいた時点で、すでに学会や論文等で発表されている場合は情報を取り除くことができない場合がありますので、ご了承ください。）

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 消化管外科 肝・胆・膵外科

氏名：吉田 一博

電話：086-235-7257（平日：8時30分～17時00分）